様式7号

被害防除計画書

　該当事項に○をし、必要事項を記載し、下の空欄にその内容を詳しく記載する。また、事業計画図面等で場所を記入する。なお、被害の恐れがない理由を記載する。

1. 一般的基準第５の１にかかる被害防除計画について

周囲の農地、人家、道路水路等への土砂流出、たい積、崩壊等による被害の恐れを生じないための対策。ガス、湧水、粉じん、捨石、鉱煙等により付近の農業、水産業等の産業又は公衆衛生等に影響を及ぼす恐れを生じさせないための対策

1. 申請地の造成計画の内容

　　ア．盛り土を行う（最高　　　ｍ、最低　　　ｍ）

　　イ．切り土を行う（最高　　　ｍ、最低　　　ｍ）

　　ウ．現状のままで利用する。

（２）上記(1)に伴う被害防除策

　　①　土留め工事をする。

　　②　擁壁を設ける。

　　③　法面保護をする。

　　④　緩衝地を設ける。

　　⑤　防護柵を設ける。

　　⑥　その他

（被害防除策の内容又は被害の恐れがない理由）

　・本計画地は隣接地及び建築物及び道路水路等とは、十分なスペースを有しているため被害

の恐れはないものである。

２．一般的基準第５の２にかかる被害防除計画について

　　隣接農地の日照、通風、耕作等に著しい影響を及ぼす恐れを生じさせないための対策

（１）緑地、緩衝地を設ける。（幅約　　～　　ｍ程度）

（２）建物の高さを加減する。（高さ　　ｍ程度）

（３）隣接農地への通路を確保する。

（４）その他（その他に○をした場合はその内容を下に詳しく記載する。）

（被害防除策の内容又は被害の恐れがない理由）

　・本計画地の隣接農地は防風林が植栽されている。新たに境界ブロックを設置するため。

３．排水計画（該当事項に○をする。）

（１）雨水排水（ イ．溜枡　ロ．貯水池　ハ．水路放流　ニ．自然流下　）

（２）用水計画（ イ．公共上水道　ロ．地下水くみ上げ　ハ．その他（　　　））

（３）汚水処理（ イ．合併浄化槽　ロ．浄化槽　ハ．くみ取り　二．その他（農業集落排水））

（４）生活雑排水（ イ．合併浄化槽　ロ．溜枡　ハ．その他（農業集落排水））

様式8号

被害防除に関する誓約書

　今回私が下記農地を転用するにあたっては、別紙被害防除計画書により被害防除に努めるとともに、仮に隣接の農地等に被害が発生する恐れが生じた場合、又、被害が発生した場合は、別紙被害防除計画書に関わらず、その防除について万全の処置をいたします。

　なお、隣接土地所有者等へは工事着手前に事業計画の説明を行うとともに、工事中又は工事完了後において、隣接土地所有者等から苦情等があった場合は、自らの責任で誠意をもって対処いたします。

記

（転用する農地の所在）：　筆

令和　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　住所又は所在地：

　　　　　　　　　　　　　　　　転用事業者名：

(別紙)

理由書

　今回、農地転用を行う計画地については敷地面積646㎡であり、転用条件の500㎡を超えていますが現況地の形状を勘案すると村道に接続する236番の一部は、専用道路（通路）及び駐車場として利用し、住宅建物については、別紙の建物配置図のとおり236番の北側に建築することが適切と判断されることから、計画敷地における有効活用を図るためであります。

（別紙）農地法第5条関係3　転用計画

1. 権利を設定し又は移転しようとする理由の詳細

|  |
| --- |
| 　私は、地方公務員で、現在家族５人で借家に住んでいますが、長子の高校通学を機に住宅を建築しようと計画しました。　当初は、計画段階において集落地の空き宅地等を数カ所交渉したのですが、それぞれの理由により取得に至りませんでした。しかし、近隣の方から情報をいただき、今回の計画申請地へとたどりつきました。　申請地所有者も快く相談にのっていただき売買の運びとなったため、申請するものです。隣接地は農地でありますが、日照等営農上の支障は無いと判断されます。また、隣接地農地所有者は基より宅地所有者にも相談し了承済みです。なお、現地境界についても確認済みです。 |